

【取組】 バイオエタノールとトイレの実用化実験

8,211 千円

1 雑木・草のバイオマス利用実験 …… 8月～2月

【実施内容】

霧ヶ峰の草及び雑木からバイオエタノールを精製する実験を行う。

平成20年度の調査で霧ヶ峰の草原に関し、有機質肥料、建築資材、エネルギー資材等様々なバイオマス利用の可能性が整理され、雑木・草の新しい経済価値に着目した霧ヶ峰型資源循環モデルの構築が期待される場所であるが、技術的に未知の分野である草原のバイオマスのエタノール化に関しては、実用化の可能性についてさらに検討する必要がある。

- そこで、実用化可能性の検討及び課題の整理をするほか、バイオマス利用の啓発のため、平成20年度の調査で把握された霧ヶ峰の二次草原のバイオマス量(約3,625トン)から生産可能なバイオエタノールの量及び費用の試算等を、精製実験を通じて行う 8月～12月
- 精製したバイオエタノールを、諏訪地域のアイスキャンドルイベントで灯して啓発を行う 2月

- 精製残渣は堆肥化して農家、一般家庭等に配布 8月～12月

既に研究が進みつつある稲わら等の農業系のセルロースに限らず、草原や河川敷等に膨大に存在するバイオマスの活用を進め、低炭素社会の推進に役立てる上でも、この実験は貴重なデータを得る機会になると考えられる。

【経費の種類】

(1) 業務委託費 (長野県内でバイオエタノールの精製実験に関し実績のある環境コンサルタントに 参画してもらい、実験と解析を実施)	3,600千円
(2) 需用費等(イベント等での啓発のためのチラシ、堆肥袋等)	882千円
計	4,482千円

2 霧ヶ峰の環境と利用負荷特性に適応したトイレの実用化調査 …… 7月～10月

【実施内容】

平成20年度に実施した調査で霧ヶ峰に適したトイレの処理方式として提案された「洗浄水循環再利用方式」が、実際に霧ヶ峰(車山肩)の環境と利用負荷特性に適合したものかどうか確認するとともにトイレ整備計画を明確にするため、

- 利用のピークである7月下旬からお盆の時期を含む50日程度、仮設トイレを設置してデータを収集する 7月～9月
(平成20年度は、地方の元気再生事業のスケジュール上の制約から、8月下旬から9月上旬にかけてのデータ収集となった。)
- 利用のしやすさと景観に配慮したトイレの設置場所及びデザインを検討する 7月～10月

【経費の種類】

(1) 業務委託費(トイレ設置の実用化調査委託)	2,118千円
(2) トイレの汲み取りに関する経費等	1,611千円
計	3,729千円

【取組】 エコツアー担い手育成の本格化、歩いて味わう霧ヶ峰文化の醸成

4,987 千円

1 インタープリター養成講座の開催 …… 9月

【実施内容】

エコツアーの担い手育成を本格化するため、平成20年度に実施した「インタープリター発掘型エコツアー」の参加者等を対象に、霧ヶ峰に即したインタープリテーションの知識と技術を身に付けてもらうための講座を開催する。

講座は、座学とエコツアーにおける実技を組み合わせたものとする。

【経費の種類】

報償費(講師謝礼)、需用費(資料印刷等)、役務費(郵送代等)	701千円
--------------------------------	-------

2 エコツーリズム講座の開催 …… 8月～10月

【実施内容】

霧ヶ峰の人みんなが“インタープリター”として観光客・利用者を迎え、店舗や宿泊施設でも霧ヶ峰に関する基礎的な質問には答えられるようにすることにより、霧ヶ峰全体で層の厚いエコツーリズムに取り組むため、霧ヶ峰の事業者、関係者及び一般住民を対象に講座を開催する。

講座は、エコツーリズムに関する理解、霧ヶ峰の自然及び歴史・文化の基礎知識、霧ヶ峰の資源を掘り起こすのに必要な視点の3つを参加者に得てもらうためのプログラムで行う。

【経費の種類】

報償費(講師謝礼)、需用費(資料印刷等)、役務費(郵送代等)、使用料(会場費) 804千円

3 GPS携帯端末による情報提供と利用客案内・誘導、利用分散実験 …… 7月～2月

【実施内容】

霧ヶ峰はリピーター比率が高く、エコツアーやガイドツアーに参加せず、自ら地図を片手に歩いて楽しむ人も多いことから、そうした人たちに対する情報提供と案内・誘導、利用分散促進のため、GPS携帯端末(携帯電話)による実験を行う。端末から霧ヶ峰の自然、歴史等に関する解説情報及び地図情報を提供することにより、次の3つの効果(うち が最重要)が期待される。

霧ヶ峰の自然、歴史等の解説情報の提供による霧ヶ峰の理解の促進

GPSによる現在位置の表示と目的地への案内

利用者が知らなかった霧ヶ峰の魅力スポットを優先的に表示、案内するとともに、より深い霧ヶ峰の魅力情報を提供することによる利用客の誘導、分散

- ・ 地図データ及びシステム作成 7月～8月
- ・ GPS携帯端末実験 9月
- ・ 実験参加者の動線やアンケート結果等分析、利用分散・平準化対策を体系的に整理 11月～2月

【経費の種類】

(1) 委託費(地図データ及びシステム作成、結果解析) 3,150千円

(2) 需用費(リーフレット、「実験実施中」看板等)、役務費(郵送代) 332千円

計 3,482千円

【取組】『霧ヶ峰の今とみらい』の全国発信、一般住民・利用客の理解の促進

7,036 千円

1 霧ヶ峰ポータルサイトの構築 …… 7月～2月

【実施内容】

効果的に情報発信をしつつ、住民・企業や利用客に広く霧ヶ峰を理解してもらい、多くの人の参画を得ながら霧ヶ峰再生の事業を推進していくため、次のような情報を提供するポータルサイトを構築する。今回構築するポータルサイトは、「霧ヶ峰」と検索したときにトップでヒットする霧ヶ峰の代表ページであり、既存の霧ヶ峰の関係団体のホームページへもリンクする玄関サイトである。

制作の技術的な部分は専門業者に委託して行うが、画面構成、提供情報等は、霧ヶ峰自然環境保全協議会の構成団体が検討し、決定する。

* 『霧ヶ峰の今とみらい～霧ヶ峰再生のための基本計画～』の内容の情報発信、理解の促進

* 霧ヶ峰の自然、歴史・文化、知られざる魅力の紹介、解説

* 霧ヶ峰のエコツアー情報の提供

* 歩いて味わう霧ヶ峰のコース紹介

* 霧ヶ峰保全再生参画企業、活動参加者の募集 等

・ サイト構築 7月～8月

・ 試験運用 9月～12月

・ 本格運用開始、企業等への発信 1月～

【経費の種類】

(1) 委託費(ポータルサイト制作) 897千円

(2) 需用費(印刷費等)、役務費(郵送代) 146千円

計 1,043千円

2 霧ヶ峰のロゴデザイン …… 7月～11月

【実施内容】

霧ヶ峰ポータルサイト、パンフレット、案内板等に統一的使用するため、霧ヶ峰のロゴとイメージカラーをデザインする。それに当たっては、霧ヶ峰に対する関心を高めるためにも、一般住民からの図案募集や観光客による投票を行う。

- ・ 図案公募(事前着手) 4月～6月
- ・ 図案候補の選択 6月
- ・ 観光客による人気投票 7月～9月
- ・ 霧ヶ峰自然環境保全協議会での決定 10月
- ・ ロゴシール作成、リーフレット・ホームページ等への反映開始 - 11月

【経費の種類】

需用費(ロゴシール印刷費等) 142千円

3 歩いて味わう霧ヶ峰のリーフレット作成・配布、効果検証 …… 6月～12月

【実施内容】

霧ヶ峰を訪れる一般利用客等を対象に、歩いて味わう霧ヶ峰のコース紹介を通じた利用分散や霧ヶ峰の自然、歴史・文化と『霧ヶ峰の今とみらい～霧ヶ峰再生のための基本計画～』への理解、保全再生を促進するため、リーフレットを作成する。リーフレットは、霧ヶ峰の3ビジターセンター及び宿泊施設等において配布する。

併せてアンケート調査票を挟み込み、回収、分析することにより効果を把握する。

- ・ リーフレット構成検討(霧ヶ峰自然環境保全協議会) 6月
- ・ リーフレット印刷、アンケート調査票とともに配布 7月～
- ・ ロゴ、ポータルサイトURL等を反映して増刷 10月
- ・ アンケート集計、分析 12月～1月

【経費の種類】

需用費(印刷費等)、役務費(郵送代) 2,272千円

4 霧ヶ峰への理解を促進するためのDVDコンテンツ制作 …… 7月～3月

【実施内容】

映像を使ってわかりやすく解説し訴求力を高めることにより、霧ヶ峰の自然、歴史・文化を多くの人に理解してもらうとともに、保全再生活動への企業の参画を促進するため、DVDコンテンツを作成する。

DVDコンテンツは、平成20年度に諏訪地域の小中学生が参加して作成された『ヤマナシじいさんから聞いた霧ヶ峰の物語』を軸に、平成21年度に取材する映像と資料映像、ナレーションを組み合わせたものとし、完成したDVDを諏訪地域の教育機関、社会教育施設、環境活動団体等に配布し、学習や理解促進に役立てるとともに、草原の資源活用等を通じた霧ヶ峰の保全再生活動に参画する企業へのアプローチに活用する。

- ・ 取材、DVDコンテンツ制作、DVDプレス 7月～3月
- ・ DVD配布、企業へのアプローチ 2月～3月

【経費の種類】

(1) 委託費(DVDコンテンツ制作) 2,048千円

(2) 需用費(DVDプレス等)、役務費(DVD発送) 1,531千円

計 3,579千円

【合計事業費 20,234 千円】